

ビジネススタイル
が変わる!

Windows8で広がる世界

今年発売と噂されているMicrosoft社次期OS「Windows8」。去年の9月に開発者向けプレビュー版も公開され、その詳細が明らかになってきました。アプリのタイルが並ぶメトロスタイルアプリやタッチ操作など見た目も操作性も従来のものと比べ、かなり変化していると言われてます。今回は、Windows8に変わること近い将来可能になることなどをご紹介します。

あなたはiPad? Android? それともWindows?

タッチパネルで快適操作、薄型で手軽に持ち運べるとしてタブレット端末が昨今人気を集め、新製品が次々と登場していますが、いよいよタブレット端末にもWindowsが登場しそうです。これまでのWindowsは、性能の低いCPUには不向きでしたが、Windows8ではタブレット端末など、PCより性能の低いCPUにも対応しています。Windows8搭載タブレットならMS-Officeなど、数多くのソフトがそのままインストールでき、サクサク動くようになるはずです。



タブレットがWindowsパソコンになる!

これまでもスマートフォンやタブレット端末には、MS-Office文書の編集アプリがありましたが、Windows8搭載タブレットなら、MS-Officeそのもので、PC同様の操作で文書の作成編集ができるようになります。そうすれば大きいデスクトップPCや重たいノートPCの代わりにWindows8搭載タブレットを導入する会社も増えるかもしれません。使う時だけBluetooth接続のワイヤレスキーボードを接続して、出張時はタブレット端末だけのスタイルが広がるかも?

PCを買い替えても安心! いつもと同じ設定で起動する!

Windows Live ID(以下、Live ID)をご存知ですか。MicrosoftのHotmailやSkyDriveなどのサービスを利用する時に必要な、無料の会員IDのようなものです。このLive IDがWindows8のログオン(アカウント)に利用できるようになります。Live IDでログオンすればすぐにHotmailやSkyDrive、その他Microsoftが用意するサービスを簡単に利用できます。また、Live IDにはWindows8の個人設定、環境、Webブラウザの設定やお気に入りなどが紐付けされ、別のWindows8に同じLive IDでログオンすると、設定や環境が同期されて引き継がれます。PCを買い直しても環境、設定を引く次ぐことができます。Live IDとWindows8が連携すると、いつもと同じ自分専用のWindows8の環境で操作できるようになるのです。

面倒な環境設定はLive IDが覚えてます!

こんな使い方、あきらめていませんか?

タブレット端末の軽快さと、Live IDの利便性を味方にしたWindows8は、今までのビジネススタイルを変えるかもしれません。タブレット、デスクトップ、ノートPCを連携して、きっと下のような使い方ができるようになるのではないのでしょうか。

● タブレット端末でプレゼン

薄くて軽量のWindows8搭載タブレットは、これまでのタブレット端末と違い、純粋なWindowsパソコンとして使えますので、パワーポイントでのプレゼンもお手の物。その場で修正も簡単です。プロジェクターに無線接続して、スマートにプレゼンができるようになります。

● 手ブラで出張

使い慣れたPCを持って行かなくても、出張先のPCにLive IDでログオンすれば、いつもの環境で操作できます。SkyDriveなどのオンラインストレージを利用すれば、データも持ち歩く必要はありません。でも、出張先のPCに、必要なソフトが入っているかだけは確認しましょうね。

● 自分専用の環境で使用する

社内でみんなが使う共有PC。自分のLive IDでログオンすれば、他の人の使用環境を変更することなく、設定の変更や「お気に入り」の追加、デスクトップの壁紙などを変更する事が可能です。デスクのPCと共有PCを同じ環境で使用することも可能です。



Windows8の
Metroスタイルのデスクトップ



同じLive IDでログオン
すればどの端末でも同じ
環境で使用できます。

USBメモリから起動! ついに持ち運べるWindowsが登場!

Windows8の新機能で興味深いのは「Windows To Go」です。この機能は32GB以上の容量のUSBメモリやUSBハードディスクに、Windows8を格納して、USBメモリやUSBハードディスクから起動する機能です。Windows8の環境だけでなく、アプリケーションやデータも格納できますので、出張時にUSBメモリやUSBハードディスクだけを持って行き、出張先のPCで自分のWindows8環境で作業ができるのです。ただ、この機能は、セキュリティや、Windowsのライセンスの関係で、一般向けのエディションへの搭載は難しいと言われてます。企業向けのボリュームライセンスでの機能になりそうです。



Windows8
アプリケーション
データ

挿し込んだPCでWindows8を起動!

他にも新機能、便利機能が満載!

Windows8は、起動時の画面からこれまでのWindowsとは全く違います。Metroスタイルという、タイルが並んだインターフェースになっています。「新しい使い方を覚えるのが大変だなあ」と思われる方も多くかも知れませんが、新しい機能もたくさんあり、きっと便利になっているはずです。(今までのデスクトップ画面にも切り替えれます)

画像の管理はお任せ!

最近では、デジカメの写真やPCのハードディスク以外の様々な場所に保存できるようになりました。「Facebook」や「mixi」などのSNSに写真を公開する機能がありますが、ブラウザで使っているとサービスごとに画面や操作が違うため、戸惑っている方もいらっしゃるのではないのでしょうか。Windows8なら複数のサービスを「Photos」で一覧でき、同じ操作でスムーズに閲覧できます。

Windows8では、FacebookやSkyDrive、さらにネットワークで接続された別のパソコンにある写真も、保存場所の違いを意識することなく表示できます。

ついにウイルス対策も!

現在、Windows7に付属している「Windows Defender」は、スパイウェア対策ツールですが、Windows8ではウイルス対策機能まで拡張されているという噂です。ただし、この機能は「最低限の保護」らしく、市販のウイルス対策ソフトほどの機能は無いようです。それでも最初からウイルス対策ソフトが付属しているという事は安心ですね。



WindowsXPからのバージョンアップに対応!

ご存知の方もいると思いますが、Windows7はXPからのバージョンアップには対応していません。しかし、Windows8では、XPのパソコンからバージョンアップができるらしいのです。各種設定を引き継いでインストールできるバージョンアップに対応することで、マイクロソフトはXPからの完全移行を狙っているのかもしれないですね。

Windows8のリリースは2012年中と噂されています。今回は、これまでに流れている情報を元にしてますので、実際のリリースまでに変更になる機能もあるかもしれませんが、とにかく今後のWindows8の動きに期待したいですね。

開発室から

今年の年賀状は、珍しく4等の切手シートが3枚も当たりました。数十枚の中の3枚ですから、ものすごい確率だと、少し喜んだのですが、ここ数年、年賀状以外にハガキも手紙も出してないことに気づきました。「切手シートを使うときがない・・・」